

赤い羽根



共同募金

令和6年10月1日～令和7年3月31日



支える人を

支える募金

地域ふれあい事業（八街市）

令和5年度
みなさまから寄せられた募金総額

556,603,881円

赤い羽根募金 **356,780,587円**

市町村歳末
たすけあい募金 **180,119,722円**

NHK歳末
たすけあい募金 **19,703,572円**

赤い羽根募金は「じぶんの町を、良くするしくみ。」 『みんな』が主役の地域を良くするための運動です。

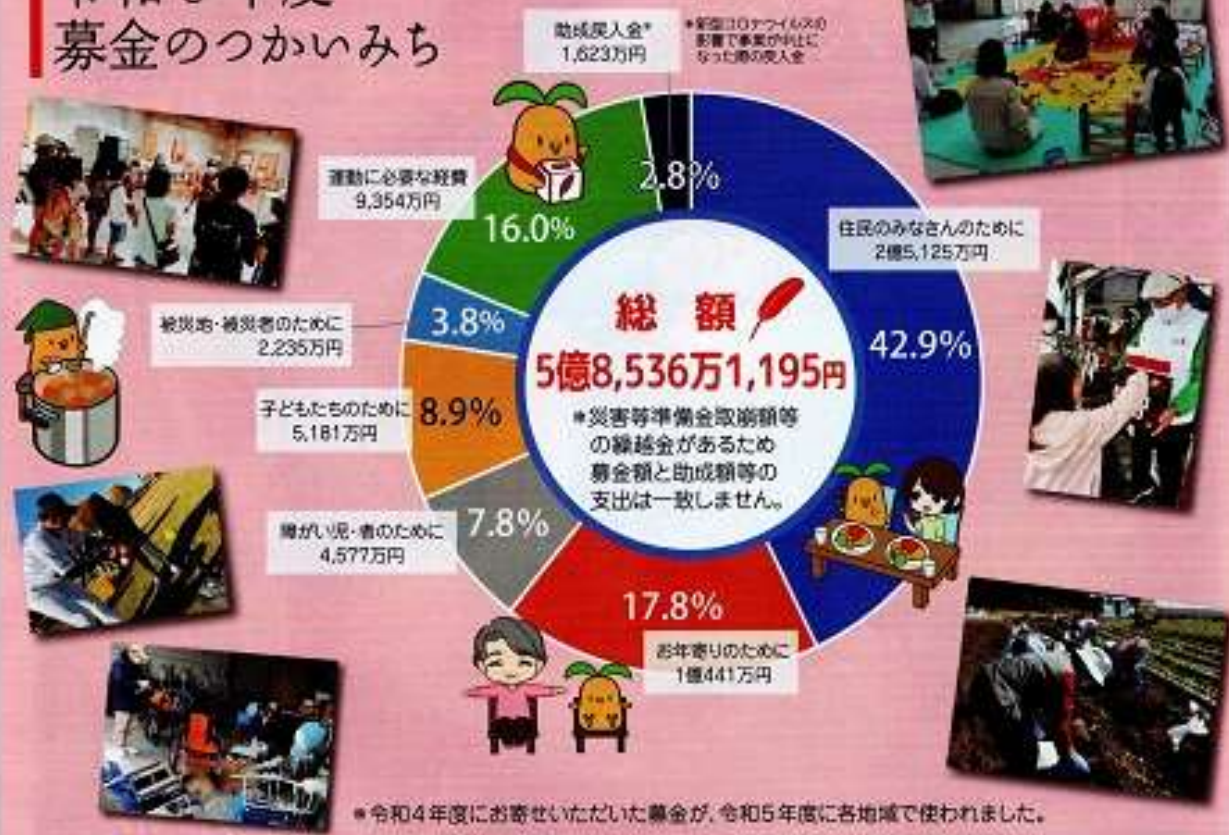
「赤い羽根共同募金」は、1947年(昭和22年)に始まって以来、地域の福祉活動に役立ってきた社会福祉法に基づく民間の募金運動です。

「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、全国で年間約4万6千件にのぼる各地の住民ボランティアや地域福祉活動(高齢者、障がい者、子ども、災害時支援など)を応援しています。

お寄せいただいた募金は、地域のために活躍する団体の活動費として使われます。



令和5年度 募金のつかいみち



千葉県では皆様からお寄せいただいたと寄付で、年間およそ2,500件の助成を行っています。共同募金運動に温かいご理解・ご協力をいただきました寄付者・ボランティアのみなさまに心より感謝申し上げます。



社会福祉法人
千葉県共同募金会
会長 岩野 俊行

と協力ありがとうございます
ございました

令和5年度の共同募金運動は、新型コロナウイルス感染症が「新しい生活様式」の一部となり日常を少しずつ取り戻す動きが広がる中での運動となりました。まだまだ影響が残る厳しい状況下にも関わらず、5億5千万円余のご支援をいただき、深く感謝申し上げます。皆様からお預かりしました募金は、皆様のまちの福祉活動や、福祉団体・施設の整備費など幅広く活用させていただいた地、新型コロナウイルス感染症の影響による地域の孤立を防ぐ活動などの支障にも役立つことができました。

「日常」を取り戻す動きが広がる一方で、地域や人々のつながりは希薄化し、多くの福祉課題を生んでいます。皆様のあたたかい善意を一人でも多くの困っている方々にお届けできるよう、引き続き、皆様のご理解とご支援を願います。どうぞ、お願い申し上げます。

地域のこんな活動を支援しています

お寄せいただいたご寄付は、毎年たくさんの「ありがとう」の声に変わっています。

健

健康でいきいきと暮らし続けられる
地域づくりを支えます



児童デイサービスクリスマス会（山武市）

子

生きづらさを抱える
子ども・若者とその家族を支えます



自立生活支援<体験実習>（千葉市）

生

生活に困難を抱える
人たちを支えます



フードパントリー（成田市）

誰

誰をも受け入れ、誰もが参加できる
地域づくりを支えます



春休みボランティア体験～科学実験教室～（野田市）

災

災害ボランティア活動・防災・減災活動を支えます

災害等準備金

大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では、毎年「赤い羽根募金額」の3%を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、災害ボランティア活動支援など、被災地のために使われています。（3年経過後、取崩して共同募金助成に役立てられます。）

令和5年度積立額 16,698,000円
能登半島地震災害への拠出 13,844,000円
千葉県大雨災害への拠出※ 1,864,831円

※千葉県内で起きた災害のため令和5年度に使用した積立金



令和5年9月の台風15号接近による大規模災害復興支援

令和5年度 災害義援金

令和5年度は千葉県内をはじめ各地で地震や豪雨による災害が発生し、甚大な被害を及ぼしました。被災された皆様は心よりお見舞い申し上げます。

千葉県共同募金会では、各災害において義援金の募集を行い、その結果下記のとおり義援金をお寄せいただきました。皆様の温かいご協力に心より感謝申し上げます。

災害義援金名	件数	義援金額
令和6年能登半島地震災害義援金(合計※)	179	21,494,452
令和5年台風13号大雨千葉県災害義援金	111	4,773,259
その他県外の災害に対する義援金	36	108,075
合計	326	26,375,786

※石川県、富山県、新潟県、福井県の合計

被災者・被災地支援(令和5年度)

○千葉県内に避難している能登半島
地震災害被災者への生活支援金
10件 800,000円

令和5年度 災害見舞金
○火災・風水害 276件 2,097,000円

共同募金運動にご理解・ご協力をお願いいたします

募金は皆さまの身近な“困りごと”に使われます

千葉県内でお預かりした募金のうち70%が皆様の身近な地域(市・区・町・村内)で福祉課題の解決のため活用されています。残りの30%は県内の社会福祉施設の整備や福祉団体等の活動支援として活用されるほか、災害支援にも役立てられています。(運動経費を除く)

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、職を失い困窮している人や地域での孤立を防ぐ活動への支援も数多く行っています。



寄附で支援する福祉団体の
活動・活動内容



寄付をした市町村を
良くする活動に

十分な支援を届けるための「募金目標額」

共同募金は、寄附金が集まってから使いみちを決めるのではなく、地域の福祉課題に取り組む団体からの困っている声(福祉ニーズ)を受け付け、使いみちを決めてから募金を行う「計画募金」です。

その為、必要などころに助成支援が行き渡るよう、募金目標額(「これだけ集まれば全ての団体に助成ができる」というゴール)を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。

今年度の募金目標額

合計	580,000,000円
赤い羽根募金	370,000,000円
市町村歳末 たすけあい募金	182,250,000円
NHK歳末 たすけあい募金	27,750,000円

色々な方法で地域のための募金活動にご協力いただけます

グッズ募金

千葉県共同募金会マスコットキャラクター「びわびよ」のグッズや、様々なキャラクターとのコラボグッズなどの購入を通じてご寄付をお願いしております。



※令和6年度「びわびよ」デザイン▶

ネット募金

ネットからのご寄付を受け付けております。クレジットカードやコンビニ支払、キャリア決済など様々な決済方法をご用意しています。



ポスターの掲示(広報協力)



あかいはね自販機

売り上げの一部が地域福祉のために寄附される「あかいはね自販機」の設置にご協力いただけるオーナー様を募集しています。



イベント募金

県内を本拠地とするスポーツチームの試合会場など、県内で行われる様々なイベント会場で募金活動を行っております。



新型コロナウイルス感染症拡大による「新しい生活様式」にあわせ、地域ごとに必要とする福祉活動を応援しています。皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

募金活動Q & A

Q1. 募金は自主的な行為なのに、割り当てがあるのはなぜですか？

共同募金はみなさまに強制的に金額を割り当てる基金ではありません。ただし、地域福祉のニーズに応えるため届けたい目標額に対してどの程度募金が必要か、その判断材料として目安額(各市町村の必要額に応じて異なる)を示すことはあります。あくまで目安ですので、どうかみなさまの任意のご協力をお願いいたします。

Q2. 共同募金への寄付金には税の特典があるのでしょうか？

個人の寄付金は2千円を超える部分が所得控除または税額控除、個人住民税の所得控除の対象となります。会社などの法人の寄付金は、全額損金算入または寄付金の特別損金算入(社会福祉法人・特定公益増進法人へ寄付金を支払った部分)ができます。なお、遺贈による寄付金には相続税がかかります。

